

2023年8月27日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第21号(通算3353号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさまがすべてのひととおに
神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
聖霊降臨節 第14主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜん そう もくとう
前 奏 黙 祷

まね ことば
招きの詞

さん び か
賛美歌

せい し しょ
聖 書

しへん
詩編

ばん しゅ
21-518番「主にありてぞ」(©著作権消滅)

しゅつ き
出エジプト記

ふくいんしょ
ルカによる福音書

へん せつ
92編 5-6節

ちよさくけんしやうめつ
23章 9-13節

しやう せつ
14章 1-6節

いの
お 祈 り

さん び か
賛美歌 21-196番「主のうちにこそ」(©JASRAC)

メッセージ「みんな『小さい人』だった」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さん び か
賛美歌 21-487番「イエス、イエス」(©JASRAC)

しゅ いの
主の祈り

ささげもの
献げ物(*)

たんじやうしゃしゅくふくしき
誕生者祝福式(**)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅ く ふく
祝 福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こう そう
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こく
報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

** みんなで今年度8月までにお生まれの方をお祝いいたします。

えんりよ もう で
ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

まね ことば
招きの詞 詩編 92編 5-6節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁵主よ、あなたの働きは私を喜ばせる。

私はあなたの手の業^{わざ}を喜び歌おう。

⁶主よ、あなたの業はなんと大きく

あなたの計らいはいかに深いことか。

聖書 出エジプト記 23章 9-13節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

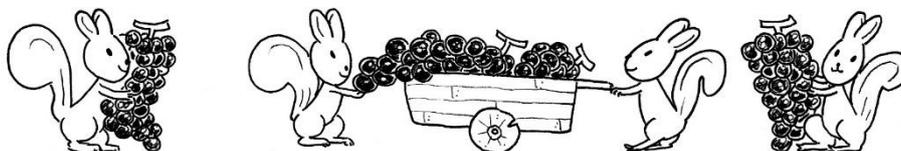
⁹あなたは寄留者を抑圧してはならない。あなたがたは寄留者の気持ちが分かるはずだ。あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである。

¹⁰六年間は地に種を蒔き、その産物を収穫しなさい。¹¹しかし七年目には地を休ませ、そのままにしておきなさい。そうすれば、あなたの民の貧しい者が食べ、その残りを野の獣が食べることができる。ぶどう畑もオリーブ畑も、同じようにしなければならない。¹²六日間はあなたの仕事をし、七日目には休みなさい。そうすれば、あなたの牛やろばは休みを得、女奴隷の子や寄留者は一息つくことができる。

¹³私^{わたし}があなたがたに言ったことすべてに注意を払いなさい。他の神々の名を唱えてはならない。それがあなたの口から聞こえてはならない。

ルカによる福音書 14章 1-6節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ある安息日^{あんそくび}に、イエスが食事のためにファリサイ派のある議員の家にお入りになったときのことである。人々はイエスの様子をうかがっていた。²その時、御前^{みまえ}に水腫^{すいしゅ}を患っている人がいた。³イエスは、律法の専門家たちやファリサイ派の人々に言われた。「安息日に病気を治すことは許されているか、いないか。」⁴彼らは黙っていた。すると、イエスはその人を引き寄せ、病気を癒やしてお帰しになった。⁵そして、言われた。「あなたがたの中に、自分の息子が牛が井戸に落ちたら、安息日だからといって、すぐに引き上げてやらない者がいるだろうか。」⁶彼らは、これに対して答えることができなかった。



《先週のメッセージより》8月20日

「命よりも大切なもの」より

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 13章 10-17節

今回のお話は、イエス様がある安息日に会堂でお話をされていると、そこに18年間も腰が曲がったままの女性がいたので、イエス様はその女性に両手を置いたら、その体はまっすぐになったというお話です。このお話には続きがあり、そこにいた会堂長が、「安息日に治療をするのはよくない。働くべき日は6日間あるではないか」と憤慨したというのです。そもそも「安息日」とは、奴隷や家畜たちを休みなく働かせ過ぎることがないように、一週間に一日は休息を与えなさいという管理者に対する命令でした。それが時代を経るにつれて意味合いが逆転してしまい、その掟を守れていない人を、差別し排除するように用いられるようになってしまっていたのです。イエス様はその掟の心(目的)は何か、ということに改めて目を向けるようにと訴えられたわけでした。

このお話の中で、イエス様によって目を開かれたのは、この会堂長たちだけではなく、この女性自身もまた束縛から解放され、目を開かれたのではないかと思います。この女性が見つかっていた霊とは「弱さの霊」でした。この女性は「弱さの霊に取りつかれ、自分の身体を折り曲げずにはいられないほど、小さくされていた」のです。18年間もの間、ずっと小さく縮こまされ身体を伸ばせずにいたこの女性もまた、周囲からの差別や偏見の下、自分自身のことを弱い者、力のない存在として、諦め、見下し、霊に取りつかれたままになっていました。そのような彼女にイエス様は「さあ、あなたの弱さから解放されなさい」(12)と両手を置いて呼びかけられました。それは「あなたはその弱さから解放されることが出来る、身体を伸ばして立ち上がることが出来るはずだから、私と一緒にやってみましょう」という呼びかけの言葉だったのだろうと思います。

律法を守るという正しいことをしているつもりが、いつの間にか本来の目的を忘れ、他人を裁き、差別し、また自分自身を弱く小さくしてしまったりすることがある。それは2000年前のイエス様の時代だけに限らず、現代においても同じです。「命よりも大切なものがある」「真実を告げる」と言っている教会も間違ふことがあります。宗教家、教師と呼ばれる人も、他人を差別し、抑圧する者になってしまうこともあります。また自分自身でさえ、自分のことを弱く小さくしてしまふこともあります。ですが、すべての命が解放されて、まっすぐに身体を伸ばして生きること。そのことこそが神様の御心です。「本当に大切なものとは何か」「命よりも大切なものはあるのか」。私たちはそれぞれに、これからも、この間に応答しながら、歩みを続けて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (8月20日)

礼拝出席 大人4名 献金 大人3,000円 中継視聴者数11回 感謝

◎次週 2023年9月3日(日) 聖霊降臨節第15主日礼拝

招きの詞 詩編 31編 24-25節

聖書 ルカによる福音書 14章 7-14節

メッセージ「大事にされたい」 水谷憲牧師

賛美歌 21-202 (©讃美歌委)、21-443 (©讃美歌改訂委)、21-17 (©讃美歌委)

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けする予定です。どうぞどなたでもご参加ください。
- ・「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です(先々週8/13と先週8/20の録画はございません)。感染症や熱中症の予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・9月9日(土)13時~16時半にかけて、大阪YWCA(大阪市北区神山町11-12)にて「ピースフェスティバル2023」が開催されます。第1部は、13時~14時50分にかけて、多文化交流プログラムとして、難民申請中の南アジア出身女性による手作りカレーのランチを食べながら、ミャンマー軍によるクーデターから2年が経った今の状況を伺います。また歌と折り紙に平和への願いをこめるピースタイム(ゲスト:マキン・サンサン・アウンさん、日本バプテスト同盟高槻バプテスト教会牧師)もあります。続く第2部は、15時~16時30分にかけて、講演会「もっとまぜてみよう!世界はもっとオモシロイ ~改悪入管法反対アクションエトセトラ~」(講師:渡邊さゆりさん、マイノリティ宣教センター共同主事・アトゥットウミャンマー支援共同代表)があります。参加費は、第1部¥1,000(ランチつき)、第2部¥500/寄付付き¥1,000/30歳以下無料です。第2部のみオンラインでの参加も可能です。申し込みは、e-mail、電話、FAXで、大阪YWCAまで直接お申込みください。

TEL:06-6361-0838/FAX:06-6361-2997

e-mail:info@osaka.ywca.or.jp

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/3	水谷牧師	ユーカリスト・教会を考える会
9/10	牛田牧師	
9/17	(牛田牧師)	(敬老の日礼拝)
9/24	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援 (河内地区壮年会 14時~16時半 @枚岡教会)

ピースフェスティバル2023
私たちのカラフルコミュニケーション

2023年9月9日(土)
第1部 13:00~14:50
第2部 15:00~16:30

第1部 多文化交流プログラム
難民申請中の南アジア出身女性による手作りカレーのランチ
*ミャンマー軍によるクーデターから2年、今の状況を伺います。
*歌と折り紙に平和への願いをこめるピースタイム

第2部 公開講演
もっとまぜてみよう!世界はもっとオモシロイ ~改悪入管法反対アクションエトセトラ~
講師:渡邊さゆりさん
(マイノリティ宣教センター共同主事・アトゥットウミャンマー支援共同代表)

参加費
第1部 ¥1,000(ランチつき)
第2部 ¥500 寄付付き¥1,000
30歳以下無料

会場
大阪YWCA
(大阪市北区神山町11-12)
*第2部のみオンライン参加も可

主催
公益財団法人大阪YWCA
主催者:水谷憲牧師
e-mail:info@osaka.ywca.or.jp
電話:06-6361-0838